

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和元年11月15日(金) 第5校時
指導学年 第3学年108名
指導者 第3学年部教職員

1. 単元 地域を知ろう・地域を守ろう
～災害に強い街づくりについて杵築市への提言～

2. 単元について

本校では、『地域を知ろう・地域を守ろう』大切な杵築のために杵中生ができることは何かを探る」を防災教育の目標に掲げ、取り組みを行っている。今年度は防災教育モデル校の指定にあたり、総合的な学習の時間の単元を防災教育にあて、「地域とともに歩む杵中生の防災意識の高揚をめざして」とのテーマを設定し、各学年の段階に応じた、地域調べ学習を通じて目標の具現化を図っている。

第3学年では、自分の住んでいる身近な地域に特化して、学習を進めてきた。自分たちが社会に出てからも、郷土の杵築市が持続可能な社会であり続けるために、「防災・減災」という観点から今の自分に出来ることを考えさせたい。そして、未来のために必要な対策などを杵築市に提言する。この活動を通して、郷土の愛着を高め、杵築市を護り、よりよく発展させていこうとする生徒が育つことに期待している。

3. 単元目標

わが町「杵築」の災害対策について調べることを通して、郷土に愛着を持ち、護り、発展させていこうとする意欲を育てる。

4. 単元の評価規準

○知識及び技能

- ・災害に強い町づくりと自分との関わりが分かる。(A)
- ・集めた情報を整理や分析し、ポスターに情報を構造化・抽象化してまとめる技能を身につけている。(A)

○思考力・判断力・表現力等

- ・防災や減災に関心を持ち、現状から課題を設定し、必要な情報を収集できる。(B①②⑤)
- ・集めた情報をもとに、わかりやすいポスターを作成することができる。(B③④)

○主体的に学習に取り組む態度

- ・お互いに意見を交換する中で、自分自身の考えを深めることができる。(C②④⑤)
- ・役割を分担し、お互いに協力をしながらポスターを作成することができる。(C①③)

※年間指導計画(3年)の「育成を目指す資質・能力の例」を参照

5. 単元の指導計画 本時(23/25)

学習課題の過程	形態	時間	主な学習活動	評価規準
①オリエンテーション	全体	1	・防災教育の趣旨説明、目標について聞く。 ・東南海地震による津波被害について考える。 ・課題を設定し、今後の取り組みについて知る。 ・防災に関する事前アンケートを行なう。	A B① C②
②災害についての基本知識を身につける	学級	1	・東日本大震災に関する基本知識を学ぶ。 ・感想や学んだことをまとめる	A C②
③地震の被害について想定されることを整理・分析し、今後の取り組みについて話し合う	学級 (班)	3	・杵築という地域の特徴や情報をインターネットや文献で調べ、小学校区ごとの地図に記入する。 ・小学校区ごとに、起こりやすそうな災害や被害の予想を立てる。 ・予想した災害や被害の中から、調べたいものを選び、小グループを作る。	A B①② C①②③

④提言作成に向けて、大分県や杵築市の防災対策などの必要な情報を集める	学級 (班)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地図をもとに、地震に備え、どんな対策が必要か話し合う。 ・ポスターにどのような内容を盛り込むか、必要な情報や調べる内容について計画を立てる。 ・聞き取り調査、文献調査など班ごとに自分たちのテーマに沿って情報を収集する。 	A B② C①③
⑤現地調査から学ぶ	全体 (班)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で危険箇所の把握・調査をする。 ・これまで調べたことについて、現地で比較・検証する。 	A B②
⑥発表に向けて準備する	学級 (班)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理・分析する。 ・ポスターの内容やレイアウトについて決め、ポスターを作成する。 ・発表の練習を行なう。 	B③④ C①③
⑦班ごとにまとめた内容についてポスターセッションをし、意見交換をする。	全体 (班)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の作成したポスターについて説明を聞き、意見交換する。 ・他班の発表を受けて、自班の提言を見直す。 ・自班の提言を推敲して、発表し合う。 	B④⑤ C④⑤

6. 本時案 (1 / 3)

(1) 題目 災害に強い街になるための杵築市への提言

(2) ねらい 班ごとにまとめた「杵築市への提言」について、ポスターセッションを聞いたり、意見や考えを書いたりする活動を通して、自己の考えを深めさせる。

(3) 展開

時間	学習活動 メモ…メモをとる場面	指導及び指導上の留意点 ○指導 ・指導上の留意点 □支援 <u>ねらいの達成に結びつく「書く活動」</u>	備考および評価
5	1 本時のめあてを確認する。	○本時のめあてを確認させる。	ワークシート
35	2 ポスターセッションをし、他班の発表内容をワークシートにまとめる。 メモ…発表を聞いて	<p>○ポスターセッションの方法を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に選んだ班（同じ災害、同じ地区の発表を優先）の発表を聞きに行く。 ・前半10班、後半10班、17日に10班が発表する。発表は各2回行ない、その後聞き手を交代する。 ・発表は1回5分。最後に質疑応答の時間を2分設ける。 ・発表者は要点をおさえて、簡潔にわかりやすく説明する。 ・聞き手は自分から積極的に質問を求める。（全体で1回以上は質問する。） <p>○ポスターセッションをさせる。</p> <p>○聞き手は<u>意見や疑問点、新たな発見や感想などのメモ</u>をとらせる。</p> <p>□教師側がタイムキーパーを担当する。</p> <p>□参観者にも疑問点や感想を書いてもらい、発表した班の回収箱に入れてもらう。</p>	<p>指し棒 ストップウォッチ</p> <p>発表者や聞き手が、お互いに意見を交換し、内容について討議している。</p> <p>【観察】 (C④)</p>
10	3 聞き取った内容について、個人で意見を持つ。	○ポスターセッションの前後で <u>考えが変わったこと、変わらなかったことを書き</u> 、自分の意見を持たせ、本時の振り返りとする。	<p>今後必要だと考える取り組みについて自分の考えを持つ。</p> <p>【ワークシート】 (C②)</p>

6. 次時案 (2 / 3)

(1) ※省略

(2) ねらい 班ごとにまとめた「杵築市への提言」について、ポスターセッションを聞いたり、考えを書いたり、意見交流したりすることを通して、自分たちの提言を練り直させる。

(3) 展開

時間	学習活動 メモ…メモをとる場面	指導及び指導上の留意点 ○指導 ・指導上の留意点 □支援 <u>ねらいの達成に結びつく「書く活動」</u>	備考および評価
20	1 ポスターセッションをし、他班の発表内容をワークシートにまとめる。 メモ…発表を聞いて	○前時のめあてを確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 各班の「杵築市への提言」を聞いて、自班の提言を見直そう。</div> ○ポスターセッションをさせる。 ○聞き手は <u>意見や疑問点、新たな発見や感想などのメモ</u> をとらせる。 □教師側がタイムキーパーを担当する。 □参観者にも疑問点や感想を書いてもらい、発表した班の回収箱に入れてもらう。	ワークシート 指し棒 ストップウォッチ
10	2 聞き取った内容について、個人で意見を持つ。	○ポスターセッションの前後で <u>考えが変わったこと、変わらなかったことを書き</u> 、自分の意見を持たせる。	今後必要だと考える取り組みについて自分の考えを持つ。 【ワークシート】 (C②)
15	3 班でこれまでの学習の振り返りをする。	○各班のポスターセッションの内容や提言を自班で交流し、感じたことや意見、新たに気づいたことなどをワークシートにまとめさせ、本時の振り返りとする。 ○これまでの発表を聞き、感じたことや考えを深めたことなどを発表する。	班で意見を交流し、自班の提言を推敲している。 【ワークシート】【観察】 (C③)
		振り返り (例) 私たちの班では、～のように提言していましたが、他班の発表を聞いて、～の部分は同様に主張してよいと考えました。また、他班の～という提言を自班の提言に付け加えたいです。一方で、自班の～という部分は～と言うように修正した方が良いという意見が出ました。	
5	4 個人でこれまでの学習の感想や自己評価を記入する。	○ワークシートに、本時とこれまでの学習の自身の振り返りを記入させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・代表で数班が発表する。

() 小学校区 テーマ ()
3年 () 組 名前 ()

各班の「杵築市への提言」を聞いて、自分の考えを深めよう

① 各班のポスターセッションを聞こう。

～メモの視点～

- I. 自分たちの提言に取り入れたいこと。発表を聞いて新たに気づいたことや発見。
- II. 自分たちの提言との共通点。

(15日前半・15日後半) ※○をつける

	3年 () 組 () 校区 () 班	3年 () 組 () 校区 () 班
メモ		

(15日後半・17日) ※○をつける

	3年 () 組 () 校区 () 班	3年 () 組 () 校区 () 班
メモ		

② ポスターセッションの前後で考えが変わったこと、変わらなかったことを書き、自分の意見を持とう。

変わったこと	変わらなかったこと

③ ②で書いた自分の意見について、班で交流しよう

④ 自班の提言について、以下の3つの視点で振り返りましょう。⇒ 発表。

良いところ	付け加えたいこと	修正するところ

～発表例～

私たちの班の提言について、(～のような、他班との共通点や多数意見があり) 良いところがありました。また、(他班では、～という提言があり) 私たちの提言にも付け加えたいと感じました。一方で、(他班の提言を聞いて、私たちの提言には～という問題点があり) 修正した方がいいという話し合いになりました。

⑤ この学習を通しての感想を書こう。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

⑥ 自己評価をしよう。

項目	評価
災害やその対策について知ることができた	(できた) 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 (もう少し)
班のメンバーと協力して準備や発表ができた	(できた) 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 (もう少し)
わかりやすくポスターをまとめ、発表できた	(できた) 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 (もう少し)
他班の発表を積極的に聞くことができた	(できた) 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 (もう少し)
自分の意見や考えを持つことができた	(できた) 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 (もう少し)

11月15日(金) 第1グループ

11月10日 録音

〔1〕組 (神楽) 小牧区 (土砂災害) 区にて
3班

タイトル
私たちの命を守るために。

おまごころ
私たちが、土砂災害の恐れ、被災地を訪問して、被災地の現状、避難に際しての情報を伝える人がある。ぜひ聞いてください。

〔1〕組 (東) 小牧区 (土砂災害) 区にて
6班

タイトル
土砂災害の事前対策

おまごころ
僕たちは、調査現場の現状や関係者に調査を行い、そして土砂災害の被害を少なくする方法を考えた。ぜひ聞いて下さい!!!

〔1〕組 (大内) 小牧区 (津波) 区にて
9班

タイトル
津波 ~ Tsunami ~

おまごころ
私たちは、津波が来る場所や、危険箇所を調べ、準備しました。ぜひ避難場所の経路を確認し、うまく逃げられたので、ぜひ聞いて下さい。

②183班	①189班	①188班	①183班
②177班	②110班	③184班	③185班
2015年11月10日			

〔2〕組 (神楽) 小牧区 (地震) 区にて
(3 班)

タイトル
絶対助かる災害時の対策

おまごころ
普段からできる身近な所の対策や災害時の避難時の適切な行動がとれるようにまとめました。ぜひ、ご参考にしてください。

〔2〕組 (神楽) 小牧区 (津波) 区にて
⑨

タイトル
災害前の備え

おまごころ
私たちは、津波が来たときの問題点から、改善点を考え、まとめました。これからこのように行動がとれますか? 今年の3年生にアンケートもとり、目で見ておくとまとめました。ぜひ聞いてください。

〔2〕組 (東) 小牧区 (津波) 区にて
①

タイトル
備蓄と避難について

おまごころ
私たちは実際に避難場所に行き、たいてい、アンケートを取りました。そして今の状況の問題点や改善点を話し合いました。ぜひ聞いて下さい。

〔2〕組 (護国) 小牧区 (津波) 区にて
⑩

タイトル
護国小学校区の避難場所

おまごころ
僕たちは、津波が来たときの避難場所を全部調べました。各避難場所の良いところ悪いところを考えたので、ぜひ聞いてください。

〔3〕組 (神楽) 小牧区 (津波) 区にて


タイトル
津波から身を守るために。

おまごころ
僕は、お母さんに、津波が来たときの避難場所を調べました。お母さんが、津波が来たときの避難場所を調べました。ぜひ聞いて下さい。

〔3〕組 (神楽) 小牧区 (津波) 区にて

タイトル
建築物の倒壊

おまごころ
私たちは、建築物の倒壊について調べました。私たちの住む家の建築物には、倒壊の危険性がある。ぜひ聞いて下さい。



〔3〕組 (豊平) 小牧区 (津波) 区にて

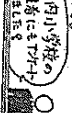
タイトル
津波への対策

おまごころ
私たちは、実際に避難場所や備蓄場所を見に行き、お母さんに話を聞きました。そして、避難場所や備蓄場所の危険性がある。ぜひ聞いて下さい。

〔3〕組 (大内 10) 小牧区 (土砂崩れ) 区にて

タイトル
もし、土砂崩れが起きたら?

おまごころ
私たちは、現地でも調査に行き、お母さんに話を聞きました。その結果から土砂崩れの対策を考えたので、ぜひ聞いて下さい。




11月15日(金) 第2グループ

(7)組(林泉) 川地区(津波) にて
 本題
 オヤトル
 津波が起ったときの避難環境

オビエ
 私達は、突然津波が来たこと、たじろの避難経路を見てもわかりました。それ、高層階層のたこのアタテを本し合いました。せむ、開いてくたさい。

(1)組(露江) 川地区(津波) にて
 本題
 オヤトル
 津波新避難策

オビエ
 私たちは、蔵江小学校区(守江)の津波が来たときの避難場所の改善策として、新しい避難場所の提案をします。せむ開いてくたさい!!



(7)組(東) 川地区(津波) にて
 57班
 オヤトル
 津波への対策

オビエ
 私達は、避難経路にかかる時間(歩き走り)自転車での移動が早かった。避難経路の参考になるようにまとめました。せむ開いてくたさい!!

1F ※20B

◎3期1班	◎2期11班	◎2期3班	◎2期2班
◎3期3班			2期110班
◎3期8班	◎1期4班	◎1期5班	◎1期2班

2期110班
 2期110班

(2)組(梓葉) 川地区(津波) にて
 ①
 オヤトル
 塩田区避難経路と避難場所の問題

オビエ
 塩田川の地区で津波が起きたとき、住民は安全な避難経路をたどるための避難経路や避難場所の改善を提出しました。せむ開いてくたさい!!

(2)組(梓葉) 川地区(土砂災害) にて
 ②
 オヤトル
 土砂災害が起きたときの居場所の危険場所

オビエ
 僕たちは、居場所の危険だと思、た場所を調査しました。危険場所の問題点を解決策を提案しました。せむ開いてくたさい!!

(2)組(大内) 川地区(津波) にて
 ①
 オヤトル
 津波が起きたときの避難対策

オビエ
 私たちは、大内地区の避難所を探りました。そして避難所にある問題点や改善策を提出しました。せむ開いてくたさい!!

(2)組(豊洋) 川地区(津波) にて
 ②
 オヤトル
 津波が起きたときの様々な対策

オビエ
 私たちは、2009年の津波の経験から、現在に於ける問題点をまとめました。それ、私たちが現在に於ける問題の解決策のアイデアを出しました。せむ開いてくたさい!!

(3)組(梓葉1) 川地区(津波) にて
 オヤトル
 自身の備えで被害を少なく。

オビエ
 私達は、津波が来たときに、自分の備えで被害を少なくしたいです。せむ開いてくたさい!!

(3)組(梓葉2) 川地区(建築物の倒壊) にて
 オヤトル
 建築物の倒壊を防ぐための対策

オビエ
 私たちは、建築物の倒壊を防ぐための対策を提案しました。せむ開いてくたさい!!

(3)組(豊洋2) 川地区(津波) にて
 オヤトル
 津波が来たときの避難所

オビエ
 私たちは、お祭りやイベントを中止して、避難所を確保することを提案しました。せむ開いてくたさい!!